

地域情報ゼミナールCII(その1)

2 units 3rd-year(2nd semester)

Tetsuya Toyoda · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) この授業は、地域に展開する経済・社会現象の空間構造やその変容過程について、地理学的手法を用いて研究しようとする学生を対象としている。「人文地理学」に含まれるさまざまな研究領域の中から、受講者が自らテーマを設定し、地理情報システムや地域統計分析を用いた独自の調査・分析をおこない、論理的考察を深めることを目的とする。

Outline) 人文地理学ゼミナール

Keyword) *geography, spatial structure, regional problem, geographic information system*

Relational Lecture) “地域構造論研究 I”(0.5), “Human Geography I”(0.5)

Notice) 本ゼミナールの受講にあたって地域情報ゼミナールCIと併せて通年で履修すること。4年次向けに開講される地域情報ゼミナールCII(その2)とは、単位の重ね読みができる。

Goal) 自ら設定した課題の解明に向けて調査・分析をおこない、レポートや論文を執筆し説得力あるプレゼンテーションができる。

Schedule)

1. 地理学では地域の実態を解明する手段としてフィールドワークが重視されている。3年次では、受講者が夏季休暇期間中に各自のテーマにもとづき個人調査をおこない、地域調査に関する実践的な能力を高めることが求められる。後期のゼミナールにおいては、フィールドワークの調査結果を報告し、その内容を多面的に討議・検討する。必要に応じ追加的な調査や分析をおこないながら、より完成度の高い報告書の作成を目指す。
2. 個人研究にせよ卒業研究にせよ、受講者の主体的な取り組みと粘り強い努力が必要である。また、参加者全員が真剣な討論をおこなうことで、切磋琢磨しながら内容を高めていくことが期待されている。
3. なお、発表時期など具体的なスケジュールは、地域情報ゼミナールA、地域情報ゼミナールB、地域情報ゼミナールDとも密接な連携をとりながら、受講者と相談の上で決定する。

Evaluation Criteria) 授業への取り組みと討議への参加意欲、報告内容の完成度をもとに評価する。なお、成績評価については地域情報ゼミナール担当教員の合議のもとに判定する。

Re-evaluation) 行わない

Textbook) 浮田典良編『ジオパル 21-地理学便利帳』海青社、¥2,500

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218808>

Contact)

⇒ Toyoda (+81-88-656-7154, toyoda@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 前期・後期 月曜日 16:30~ 17:30)